

ニッケイ俳壇

(764)

健康を量る青苔踏みに行く
サンバウロ 武藤 栄

産室に産声高く春灯
空あく地平線までカンナの穂
耕や規則正しく地平まで

さえずりのふくらみ聞こえそう臘歩く
サンバウロ 平間 浩二

朝東風の港に大漁の競りの声
ヴァルゼアを望む高台茅花咲く
議事堂で抗議ナモすインジオの日
バイナ吹く飽きず眺めて人を待つ

村上すみ子 初春の若芽刻んで胡瓜もみ
春朝にとまどいがちの厨のこと

カミニヤード老の日課年の朝
野々瀬真理 黄イペー咲いている今日は独立祭

シユラスコに招かれて来て誕生日
移住して七十八年帰化もせず
クワリリヨス 小林エリーザ 草茂る紅鰐の巣てふチチカ力カ湖

ボンベイア 岩本 洋子
ボンベイア 倉田みつ子
ボンベイア 佐々木友栄
ボンベイア 鹿島 和江

墓参り思わぬ人と出逢いたり
ボンベイア 田中 葵代

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春めくや半袖シャツの昼下り
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

西山ひろこ 西山ひろこ

西山ひろこ 西山ひろこ

ひたすらに散る花凌霄かすらかな
○この句は「黄金藤」が季題になつて居

種薄くや灰舞ひ上る焼け烟
二年ごし拓きし茅原椿を蒔く

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

西山ひろこ 西山ひろこ

西山ひろこ 西山ひろこ

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

春めきてそよ風髪を梳ひて行く
サンバウロ 新井 知里

木の実種う子等の数だけ願ひこめ
勿忘草彈けば自ずと過去のこと

赤信号急ぐこともなし日脚伸ぶ
春めくや半袖シャツの昼下り

西山ひろこ 西山ひろこ

春雷や藪を舞ひ翔つ群鸕鷀
アリアンサ 新津 雅陽

膝ついて手をついて草芳しき
蛇穴を出づ消息も無き彼よ

いち早く朝日まとひ庭草菖
やわらかものの芽光り雨上り

